

中小規模向け仮想化部会

部会紹介

<< 中小規模向け仮想化部会 >>

部会員数 : 69名

今年度開催数 : 6回

対 象 : VM数20～50程度、
主にvSphere Essentials～Standardを
ご利用のユーザー向け

進行チーム : 松田さん、堀籠さん、助川さん

2019年度活動計画

- 引き続き相談し合える場に！
- 進め方
 - ライトニングトークを中心に
お悩み相談/事例紹介
- 開催頻度
 - 5～6回/年

＜テーマ例＞

- ✓ 人が少ない、お金が少ない、物も少ない、みんなで工夫を共有！
- ✓ 失敗事例の共有、心配な部分、こんな風になってるけど、どうしたらいい？
- ✓ vCenterアプライアンスって使ってる？ 使える？
- ✓ vCenter6.7ってどうよ？

中小規模向け仮想化部会メンバー募集

✓仮想化担当に任命されたけど、どうしたら・・・
皆んなで悩みを共有しませんか？解決する事もありますよ！（経験者談）

色々聞きたい人集まれ！

✓ひとり情シスで奮闘されている方
ひとり情シスの後輩達に、その経験を伝えてもらえませんか？
皆んなの経験も知りたいですよ？

俺にしゃべらせろっていう人！
歓迎します！

✓ディープな情シスネタに飢えている方、逆に吠えたい方
聞くもよし、話すもよし、「誰も聞いてくれない！」共有しましょう！

他の部会と掛け持ちOK!

参加 お待ちしております！

部会後の懇親会は
「ここでしか聞けない！
話せない！」多数あり！

仮想インフラ部会

VIRTUAL INFRASTRUCTURE WORKING GROUP

仮想インフラ部会

部会員数	117名
対象	vSphere Std～Ent Plusを利用されている方。仮想インフラの最適化を検討されている方。
開催頻度	2か月に1回程度 。2018年度は5回開催(4月、6月、8月、10月、1月)。
開催場所	部会メンバー、サポーター企業のオフィスなど。
部会の内容	<u>ライトニングトーク(LT)を中心に活動</u> メンバー数名が実体験をもとに成功例、失敗例、課題、悩みなどのLTをします。発表されたLTにメンバーから質問、相談、アドバイスなどをします。サポーター企業からテーマに合ったコンテンツの提供を受けることもあります。
部会で扱う テーマ	<u>メンバーが話し合いたいことがテーマ</u> サーバ、ストレージ、ネットワーク、セキュリティ、バックアップ、クラウド、データセンター移行、リソース管理(人、モノ、金)、ITSMなどが多いです。 多少インフラから離れた内容でも、みんな話し合いたいことをテーマにしています。
進行チーム	成城大学 五十嵐、明治安田システム・テクノロジー株式会社 前田 NECソリューションイノベータ株式会社 山崎



仮想インフラ部会のメンバーは、中間合同部会やvFORUMのブースボランティア、部会後の懇親会など、様々なVMUGの活動へ積極的に参加しています。



活動内容は、次のURLでも紹介しています。
<https://www.facebook.com/VMUGJapan/>



2019年度の活動予定

- 2018年度に引き続き、部会はライトニングトークを中心にディープトークも実施
- サポーターさんと連携したスピンオフ企画を開催
- ハンズオンラボ、勉強会など初心者向けの活動もリクエストに合わせて実施

プライベートクラウド部会

部会紹介

プライベートクラウド部会

部会員数 : 77名

今年度開催数 : 7 回

対 象 : クラウドに共通する技術を中心にして
困りごとのディスカッション・検証・
情報収集を行いたい方向け

進行チーム	: 進行役	ディーネット	深見
	副進行役	日立製作所	久保田
		アクセント	櫻井

2019年度活動計画

① プライベートクラウドという枠から脱却

プライベート / パブリック / ハイブリッドなどのクラウド全般を対象に拡大

② 部会名称の変更

クラウド全般を対象とするため、「クラウド研究部会(仮)」へと変更

③ 対象について

- クラウド全般の導入～運用に関する考察や意見交換など
- 各業界でのクラウド利用の傾向を考察
- 技術的な情報交換だけでなく、業態などでの取り組みなども視野に

④ 方針の内容

- VMware Cloudの意見交換など
- 各製品ベンダへの講演依頼（メンバの伝手の活用含む）
- 外部講師の登用（メンバの伝手を活用）
- クラウド関連でのお悩み相談会の開催
- 当部会が主体となつてのイベントを企画/開催
- VMUG内の他部会や事務局などとの情報交流

2019年度活動計画

⑤ VMUG内の事務方および各組織との関係性の再確認

- VMUG事務局との関係の再明確化（要望）
 - 2018年度は、その前年までと異なり関連性が薄らぎ動きが見えなくなっていた
 - 何を頼って良いかの範囲が不透明になり、動きも緩慢と感じられた。
 - 幹事会と部会との関係の再確認（要望）
 - 事務局と同様に部会との関係性がよくわからない。
 - 当部会とのつながり／係わり合いなどが不明確
 - 幹事会の動向も良くわからない状況で困惑
 - VMUG上位組織としての情報共有がない（共有する場・機会を設けてほしい）
 - VMUG全体に関する情報が、部会へ伝わってこない。
 - 少なくとも動向などを部会を預かる者に伝わるようにはしてほしい
- ※何も情報や連絡事項がないということはないのでは？

デスクトップ仮想化部会

Virtual desktop infrastructure
community

部会紹介

デスクトップ仮想化部会

- 部会員数 : 87名
- 今年度開催数 : 6回 (2か月に1回/Once in 2 months)
- 対 象 : Horizonライセンス保有者(2018年度)
- ※2019年度より他社のVDIを使用しておりVMware社のHorizonを導入予定の方
- 進行チーム : 山口さん、青木さん、奥野さん

この場を借りて：

VMware 東根作様 いつもありがとうございます。

2019年度活動計画

- 最新VMware製品のアップデート(Esxi6.X or 7.x and Horizon7.X)
- Horizon View用のpowershellモジュール「VMware.Hv.Helper」の情報交換&勉強会。
- 引き続きWindows10 (ADサーバ、ネットワーク周りを含めた、ベストチューニングの見直し)
- EOLどう乗り切るか
- AWSに行っているいろいろ聞きたい (AWSのデータセンター訪問、AWSのPCoIP質問、GPU周りの質問等)
- 最新GPUソリューション(Esxi7.X&VIEW7.X&GRID8)
- ThinAPP & AppVolume
- Optimaizationツールの的なチューニング方法や運用ツールなどの情報共有
- セキュリティ対策 (Endpoint & NetWork)
- 初心者講座 (運用、スクリプトなど、検討中)
- その他交流活動 (協力メーカーさんに訪問して最新ソリューションを聞いたり、野外オフ会など)
- 別途WorkspaceOneの部会を立ち上げたい。

関西部会

部会紹介

関西部会

- 部会員数 : 104名
- 今年度開催数 : 5回
- 対 象 : 関西をメインに業務を行われている方
- 進行チーム : 進行役
 - : シナジーマーケティング株式会社 吉田典人
 - : 副進行役
 - : 株式会社ジェノバ 杉本義昭
 - : 平井精密工業株式会社 出口雅之

2019年度活動計画

- 関西のVMwareユーザのコミュニケーションの場
- 業務に役立つ内容を持ち帰れる部会を目指す
- テーマに沿った相談每を持ち寄り話し合う部会を目指す